

ボランティア便り

第2号 (年3回発行予定)

《バス研修会 若松区》

2025年6月の第1回交流会・ワークショップの会員アンケートで、要望の多かった社協の中型バス(定員39名)を使ったバス研修会を11月5日水曜日に実施しました。

行き先は北九州市若松区です。午前中に若松区ボランティア連絡協議会との交流会を行い、昼食後はシャボン玉石けん工場の見学を行いました。心配された天気も曇りのち晴れとまずまず、気温も秋らしい一日でした。



和気あいわいの車内風景

【午前10時半～11時半】若松区ボランティア連絡協議会との交流会

予約済みの会員22名は、集合時間8時20分には社協に全員集まり、参加費1500円を支払い、運転手と社協職員塚本さんを乗せて予定通り8時40分過ぎに出発しました。朝の渋滞時間でしたが、小郡鳥栖南スマートインターから九州道に入り、途中トイレ停車を挟んで、10時半には交流会会場の若松市民センターに着きました。

渡邊清子 若松区ボラ連会長ほか8名の会員と2名の若松区社協職員の出迎えを受け、早速交流会を開始しました。両会長の挨拶の後、若松区の活動紹介を若松社協の宇都宮さんと当会副会長の飛永さんが、事前に周到に用意された資料を基に、簡潔にそれぞれの活動を紹介し、個々人からの意見情報交換に入りました。予定の1時間の交流会を無事終えました。

感想文

- ・お互いの情報交換と、経験を共有し、コミュニケーションの活性化も感じた。
- ・課題点は、何処も、高齢化で、継承して貰う人、人脈の確保が、難しい。
- ・今後の、育成についての話し合いは、最も重要な課題に触れたと思います。
- ・限られた時間内相互の活動紹介や意見交換が出来たのは、良かった。
- ・活動紹介など、きちんと纏められた、副会長の発表は、良かった。

表は、良かった。

・今後若い人に、興味・関心を持って貰うのには、何が必要か、考えて行きたい。

・現状認識は、出来るが、対策についての、意見交換にはならなかった。

・もう少し、時間が欲しかった。

・若松区の皆さんが、頑張っているのが、よく分かった。

・感謝の気持ちを伝えたいと思い、来年の千支の「年」の折り紙を、メッセージに添えて届けました。

・意見交換も進み、「くるめにわか」のリンクエースがあり、即興でしたが、良かったです。

・久しぶりのバス研修で、みんな(初めての)人と仲良くなり、楽しかった。

・良かったけど、工事騒音が、やかましかった。各人のサークル活動の紹介時間はあれば！





個々の団体からの意見・情報交換



【昼食】 道の駅「海と大地」

昼食は当初 魚庵「千畳敷」を予定していましたが、残念ながら定休日でかなわず、代わりに産地直送市場「海と大地」です。直売所では脇之浦漁港で水揚げされた海産物、若松名産のキャベツやトマトをはじめ地元農家の新鮮・朝採れ野菜などを販売、食堂コーナーでは刺身や海鮮丼などを提供しています。今回は併設された「かき小屋」で、予約済の220円相当の新鮮な刺身と天ぷら定食200円(会計補助500円)で一同満足でした。



感想文

- ・刺身(厚切り)、茶わん蒸し、天ぷらなど、美味しく、良かったです。
- ・新鮮なのが、良かった。
- ・下見にも、行かれたそうで、有難うございます。
- ・アサリも、美味しかったけど、ガリつとなった。
- ・豪華で、食べきれませんでした。満足です。
- ・お店の方も、明るく気持ちのいい方でした。
- ・楽しいひと時を、有難う御座いました。



【午後1時半】シャボン玉石けん工場見

昼食後、環境学習の一環として、高度成長期の公害を乗り越えた経験と技術を活かし、環境保全と経済発展を両立させる「環境都市」を標榜する北九州市を代表するような環境に優しい企業の一つで、無添加石けんで有名な(株)シャボン玉石本舗の人気の本社工場を見学しました。当工場は、天然油脂を原料にアルカリを加える昔ながらの製法リケン化法で約一週間かけてじっくり熟成製造しています。

工場内は撮影禁止なので、内部の写真はありません。まず、広い会議場で無添加石けんと合成洗剤の違いに関する分かりやすいプレゼンを受け、2つのグループに分かれて、工場内を反応釜上部の4階から順に3階に下り、2階では棒状になった石けんをカット、成形、検査、包装・箱詰めの一連の製造工程を見ることができました。その後、割安な工場価格で、商品の購買ができました。予定通り90分間の見学ツアーを終え、3時に帰路につき、5時前に社協に無事到着しました。

感想文

・TVコマercialで観ている工場の見学ができて、良かったです。
・無添加石けんは、環境にやさしいのが分かって、良かった。(環境学習)
・説明役の方の説明が、分かり易く良かったです。

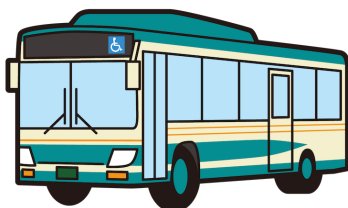
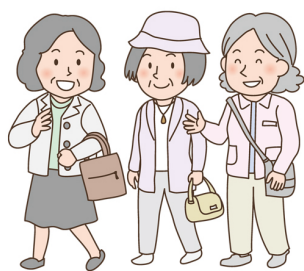
・製造中の浴用石けんを握らせて貰って、天然の材料の石けんの良さを実感した。
・今後、積極的に購入、使用したいと思いました。
・全部、シャボン玉製品を使っていますので、身近に感じ、嬉しかったです。
・塩を、使うとは知りませんでした。
・初めて、石けんの出来上がる工程を見学できたことを、嬉しく思いました。



シャボン玉石けん工場前での集合写真

今回のバス研修会についての感想

- ・ 何から何まで、考えられた素晴らしいバス研修でした。そして、無事、終わった事も。
- ・ 有難う座いました。
- ・ お疲れ様でした。有難う座いました。もう少し、若松が、近いといいなと思いました。
- ・ 幹事の皆さま。お疲れ様でした。お蔭で楽しい、バス研修でした。また、次回も、楽しみに致しております。
- ・ 各サークルの紹介があり、良かった。
- ・ 運転手さんも、お疲れ様でした。
- ・ 会員交流に、とてもいいと思います。
- ・ 次回開催の要望を多くの方から聴きました。近郊がいいかもしれません(1時間位)
- ・ 皆様と、お近づきになれて良かったです。
- ・ リフレッシュ効果と、モチベーション向上に、努めたく思います。
- ・ 今までにない新しい企画でしたが、皆さんに好評だったので、次年度以降も秋の交流学習会はバス研修会にしたいと思いました。



《おめでとう 顕彰団体の紹介》

10月31日に開催された福岡県社会福祉大会において、NPO法人シニアネット久留米、久留米大学病院ボランティアの2団体が、福岡県社会福祉協議会会長感謝および社会福祉事業協助者として顕彰されました。

また、11月4日に開催された久留米市社会福祉大会において、くるめ健康皿回し愛好会、えーるピア「子ども交流」、北野ハーモニカクラブ、NPO法人久留米市手をつなぐ育成会のボラ連加盟4団体が、久留米市社会福祉協議会会長感謝状および社会福祉協助者として顕彰されました。

加えて、2025年12月20日に久留米市の「みんなでセーフコミュニティ賞」にNPO法人にここに会が顕彰されました。

《豪雨災害支援に保管タオルと雑巾》

8月10日前後の九州豪雨災害直後、災害支援、くおか広域ネットワーク(Fネット)を通じて被災地に支援可能物資の一覧を提示し、その結果、19日にフードバンク保管中の未使用タオル350枚と雑巾用タオル330枚と水が、久留米市社協経由で福津市災害ボラセンに、雑巾用タオル150枚が宗像市社協に提供されました。2年前の備えが直ちに役立ちました。